

障害者相談支援事業所の増設

事業費 **1,887万円**

事業の概要

誰もが、身近な地域で安心して生活できるよう障がい者やそのご家族等からの相談窓口を解説します。

ギカイの視点

問 障害者相談支援事業所の増設及び内容は。

答 現在、障害者相談支援事業所

は市内に3か所ある。障がい者の相談支援は本来、地域ごとに身近な場所で相談することができる環境が必要だが、現状は3法人の特性を勘案し、障がい種別等で役割分担をしながら市内全域の相談支援を行っている。一定の圏域内の地域ごとに相談支援を行う体制のモデルとして、新たに事業所を増設する。

応急給水栓整備負担金

事業費 **944万円**

事業の概要

地震等の災害時で万が一、給水設備が破損した場合でも、水道本管から給水することができる応急給水栓を避難所となる小・中学校に順次整備しています。

ギカイの視点

問 応急給水栓の整備予定は。

答 令和6年度の応急給水栓の整備予定は花栗中学校、花栗南小学校で、30校の整備が終了する。残りは新田小学校と稲荷小学校の2校となる。

公民連携推進事業

事業費 **564万円**

事業の概要

公と民が対等な立場であるという公民連携の視点を持ちつつ、お互いの強みを十分に生かしながら、行政や地域が抱える課題の解消や市民サービスの向上、地域の活性化に資する公民連携を推進します。

ギカイの視点

問 新規事業である公民連携推進事業の内容は。

答 本市が直面する様々な課題に対し、財政的にも行政だけでは対応が困難となっており、公共施設整備などを皮切りに、多様な公共サービスにおいて公民連携の視点を取り入れるための中心的な役割を担う取組を行う。

通学路等に防犯カメラを設置

事業費 **39万円**

事業の概要

こどもに対する声掛け事案が登下校時に多く発生していることから、試験的に通学路等に防犯カメラを設置します。

ギカイの視点

問 具体的な内容とスケジュールは。

答 教育委員会や学校等と防犯上の課題のある場所について協議するとともに、草加警察署からは犯罪発生状況等の情報提供もいただきながら、犯罪抑止効果の高い設置箇所を7か所程度選定し、10月からの運用を目指す。

企業支援・育成事業

事業費 **3億8,807万円**

事業の概要

市内事業者が取り組むブランド力向上に資する認証取得、ふるさと納税推進事業などを行い、市内産業の活性化を図ります。

ギカイの視点

問 令和6年度の主な事業及び前年度との違いや充実させる点は。

答 市内中小企業の展示会への出展等を支援する企業支援・育成事業補助金や、草加モノづくりブラ

ンド認定事業、経営革新チャレンジ支援事業などを通じ、草加の優れた企業の成長支援と住工共生の推進を図っていく。前年度との違いは、草加商工会議所内に設けている事業者伴走型創業・再展開支援強化事業において、幅広い相談員の確保に努め、市内事業者の事業の拡充や今後取り組むべき課題に対してアドバイスをを行い、充実した伴走支援を目指す。

小学校は1食40円、中学校は48円 学校給食の食材費を補助

事業費 **6,426万円**

事業の概要

草加市のおいしい給食を守り、これまでと変わらない質と量の給食を提供できるよう、小・中学校に対して、物価動向を見極めながら、新年度も上半期において引き続き給食食材費の支援を行います。

ギカイの視点

問 下半期も継続するのか。打ち切る可能性はないのか。

答 これまで国の交付金を活用するなどし、給食費の補助を行ってきたことから、国の交付金の動向について引き続き注視していく。国の交付金の活用が見込めない場合には、その時点における適正な食材費を見極め、ご家庭にご負担をお願いすることも含めて検討していく。

吹奏楽部の楽器を更新

事業費 **100万円**

事業の概要

クラウドファンディング型ふるさと納税（目標額100万円）を活用し、老朽化が進んでいる中学校吹奏楽部の楽器を新たに整備します。

ギカイの視点

問 草加市では平成26年度から3年間かけて、中学校11校に100万円ずつ合計2,200万円かけて吹奏楽部の楽器購入を実施した。楽器は大体50万円から100万円かかるが、今回の予算は100万円であり、それでは足りないのでは。

答 楽器が古くなっており、各学校の配当予算の備品購入費だけでは不十分な部分もあることから、クラウドファンディングで100万円という額を設定した。それを超えた額は上乗せをしていけたらと考えている。

